

みんなの力で

子どもたちの人権意識を

育てましょう！

～文部科学省委嘱 三芳町人権教育総合推進地域事業～

三芳町教育委員会は、児童生徒の人権意識を培うために、学校・家庭・地域社会が一体となって人権教育を推進する文部科学省の委嘱事業に、埼玉県教育委員会と連携して取り組んでいます。☎学校教育課 (028)523

子どもたち一人一人が、自らについて一人の人間として大切にされているという実感をもつことができるときに、自己や他者を尊重する感覚や意志が芽生え、育つことができます。それだけに、子どもたちの生活の基盤である家庭や地域の果たす役割はとても重要です。

地域社会

○子どもたちの安全のための見守り活動を行っています。



- 学校の授業研究会に、地域の人も参加しています。
- 学校のあいさつ運動に協力しています。
- 人権作文や人権標語・ポスターのコンクールを開いています。
- 三芳町人権教育実践発表会を開催しています。
- …等、各地域や町として子どもたちに働きかけています。

家庭

- 親子で学校や地域の出来事を共有しましょう。
- ほめ上手は育て上手。やる気と自主性を育てましょう。
- 早寝・早起き・朝ごはんとあいさつはしっかりと。
- 親子で読書をしましょう。
- 物より体験。人や自然と関わりましょう。
- 子どものよさと可能性を育てましょう。
- 家族の一員として果たす役割を与えましょう。
- 自由と責任について話しましょう。

…等、家庭は子どもたちの大切な心の居場所です。



自分や他の人の人権を守るために行動できる子どもに育てましょう。

学校

○人権感覚を育成する授業を実践しています。



○あいさつ運動に取り組んでいます。



○安心して学習できる環境をつくっています。
○発見する喜びを味わえる場をつくっています。
…等、各学校の実態に応じた取り組みを実践しています。

こんな場面のあふれる町に！

三芳町立中学校二年生

あいさつって、すごく大切で、何かパワーをくれる。私はそう思います。暑い朝、寒い朝、いつも横断歩道に立って、あいさつをしてくれるおばあさんがいて、そのおばあさんには、本当に、いつもパワーをもらっています。

朝は、ねむくて、ぼーっとしている事が多いけど、おばあさんが元気で明るい声で「おはようございます。」と言ってくれるのおかげで目が覚めます。目が覚めるとなんだか心があたたかくなるんです。その日一日は、とても明るい一日になるんです。

そんなおばあさんのように、元気で明るい声であいさつ、私もしたいです。

三芳町立いさな親切ふれあいエピソードより

こんな場面のあふれる学校に！

三芳町立小学校一年生

ある日、はつぴようがにが手なほくに、ともだちが、「いっしょにはつぴようがんばろう。」といっづてくれました。ぼくは、ゆう気がわいてきて、手をあげてはつぴようすることができました。ぼくも、だれかをゆうきづけられるようになりたいです。

三芳町立いさな親切ふれあいエピソードより

自分や他の人の人権が大切にされている学校・地域では、いじめや差別がなく、安心して学習や生活ができ、自分の力を存分に発揮できます。

唐沢小学校

雑木林を整備 学習と憩いの空間に

10月5日(水)、唐沢小学校東門に隣接する雑木林の「名称お披露目会」が開催されました。(詳しくは14ページの教育トピックスで)

今回整備された雑木林は、ゴミが投棄されるなどの環境で、子どもたちが近づき難い場所でした。そんな雑木林を、中心となって整備したのが、保護者と地域の人で結成された「学校応援団」環境グループの皆さんです。子どもたちと共に下草を刈り、枝を落とすなどして、風通しの良い場所を作りました。



雑木林で行われていた音楽の授業。教室では味わえない、大きく広々とした空間で、緑に包まれながら歌を歌ったり、鍵盤ハーモニカの演奏をしたり。子どもたちからは「気持ちよかったです」「自然を感じられた」という声が聞かれました。今では、授業に使われる場所となったばかりでなく、放課後にも子どもたちが訪れるなど、四季を感じ、自然と触れ合うことのできる場所となっています。

「最初はゴミがたくさんあり、とても汚い場所でした。でも、汚いからこそきれいにしたいたい、みんなで取り組んできました。虫取りがたくさんできる場所になるといいと思います。」

代表委員長 松尾菜美さん (六年)

「今後も、継続して整備していきたいと思えます。自然についての理解を深める場となるような活動(生活科や図工などの授業活用や自然とふれあう「遊ぼう会」など)も行っていきたくて考えています。」

学校応援団コーディネーター

荒田博之さん

